

# 予算委員会 会議録

日 時 令和4年12月12日（月曜日） 午前9時57分 ～ 午前11時36分  
場 所 白杵庁舎2階 全員協議会室

## 出席委員の氏名

委員長	大塚 州章	副委員長	牧 宣雄	委員	平川 幸司
委員	甲斐 尊	委員	安東 鉄男	委員	芝田 英範
委員	河野 巧	委員	川辺 隆	委員	匹田久美子
委員	内藤 康弘	委員	伊藤 淳	委員	広田 精治
委員	戸匹 映二	委員	奥田富美子	委員	匹田 郁
委員	武生 博明	委員	吉岡 勲		

## オブザーバー

議長 梅田 徳男

## 欠席委員の氏名

（ 委員 甲斐 尊、委員 川辺 隆、委員 広田精治、委員 戸匹映二 ）

## 説明のため出席した者の職氏名

政策監（総務・企画担当）	平山 博造	政策監（民生担当）	小坂 幸雄
政策監（福祉保健担当）兼 保険健康課長	杉野 等	財務経営課長	荻野 浩一
総務課長	柴田 監	秘書・総合政策課長	安東 信二
環境課長	廣瀬 武志	地域力創生課長	望月 裕三
市民課長	寺本 政浩	子ども子育て課長	尾本 浩
高齢者支援課長	川辺みさご	税務課長	中尾 敬
福祉課長	大戸 敏雄	都市デザイン課長	小坂 郡師
建設課長	高野 裕之	併水道事業所長	小長 範幸
上下水道管理課長	齋藤 隆生	上下水道工務課長	
農林振興課長	目原 康弘	産業観光課長	佐藤 忠久
		教育総務課長	後藤 誠也

学校教育課長	新名 敦	文化・文化財課長	神田 高士
防災危機管理課長	竹尾 幸三	市民生活推進課長	川野 徳明
農林振興課参事兼 農林基盤整備室長	藤澤 清巳	産業観光課参事	山木 哲男
福祉課課長代理	阿南むつみ	その他関係職員	

出席した事務局職員の職氏名

次長 後藤秀隆      書記 大井智香子

傍聴者

( な し )

会議に付した事件及び審査結果

番 号	件 名	審査結果
第74号	令和4年度白杵市一般会計補正予算（第8号）	原案可決
第75号	令和4年度白杵市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
第76号	令和4年度白杵市下水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決
第77号	令和4年度白杵市石仏特別会計補正予算（第1号）	原案可決
第78号	令和4年度白杵市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
第79号	令和4年度白杵市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
第80号	令和4年度白杵市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決

午前9時57分 開議

○委員長（大塚州章）

皆さんおはようございます。ただいまから予算委員会を開催したいと思います。本日、事務

局の人数が少ないので、発言のある方はマイクを手回して、議員間でお願いしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。それでは、傍聴の申し出があった場合には許可したいと思いますのでご了承ください。なお、一般会計と特別会計すべての説明と質疑終了後に一般会計から順次、討論採決を行いたと思いますのでよろしくお願ひいたします。これより議事に入ります。本委員会に付託されました議案は7件であります。お手元に配付しています、委員会次第により、進行します。また、質疑及び答弁を行う前の挙手についても徹底をお願いいたします。初めに、第74号議案、令和4年度、白杵市一般会計補正予算（第8号）を議題とします。まず総務関係の議案について審査を行います。執行部の説明をお願いいたします。

◎総務課長（柴田 監）

（ 補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎財務経営課長（荻野浩一）

（ 補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎秘書・総合政策課長（安東信二）

（ 補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎地域力創生課長（望月裕三）

（ 補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎防災危機管理課長（竹尾幸三）

（ 補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎市民生活推進課長（川野徳明）

（ 補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（河野 巧）

歳出の1番、人件費ですけれども、白杵市の正規職員の定数に対して今、どれぐらいになっているのでしょうか。職員の補充が2名足りないのか、今後いつぐらいに採用されるのかとか、中途退職者が1名とか、育児休業者等が今、何名お休みになっているのかとか含めて今、何人の方が勤められているのかなというのが分かりましたらお願いします。

◎総務課長（柴田 監）

委員の質問にお答えいたします。一般職の定数につきましては、合併後しばらく条例を当たっておりませんので、定数より実際の職員のほうが、はるかに少ないような状況になっております。4月1日現在、正規職員391名でスタートしております。

○委員（河野 巧）

391名でスタートしてるとのことですが、今、補正とかが出たわけですから、人数が減っているのじゃないかなと思うんですけど。足りないのとか、中途退職の人がいらっしゃるとか、

育児休業の方が、今、いらっしゃらないということで、何名で今、運営されてるのが分かればと思ってですね。

◎総務課長（柴田 監）

河野委員のご質問にお答えいたします。先ほどの説明の中でも申しましたが、育児休業や病気による休業職員というのがおります。育児休業が、今現在7名、病気の休職、半年以上休んでいる職員が現在3名というような状況でございます。そういう職員の給与については支給を止めておりますので先ほど説明したように、減額として計上させていただいております

○委員（河野 巧）

やはり職員の方が減るということは、既存の方々の負担が増えて、運営的にも厳しくなっているんじゃないかなというのがあるので、職員補充というのは、そのなぜ足らなかったのかなとかその採用は難しかったのかというのが分かればお願いします。

◎総務課長（柴田 監）

河野委員のご質問にお答えいたします。職員の不補充2名分というのは、去年の12月に、当初予算の各課から、財政のほうに案をあげます。それ以降に、退職が出たりした場合、採用試験が間に合いません。それと昨年度は、特殊な事情といたしまして3月に1名職員が病気でお亡くなりになりましたので、その分の補充というのはちょっとできてないということで、減額ということでございます。

○委員長（大塚州章）

他にありませんでしょうか。

○委員（奥田富美子）

歳出の7、お願いします。地域の活動が活発になっているということでとても嬉しいと思うんですが、今回の補正の対象になる地域と主な活動についてお願いします。

◎地域力創生課長（望月裕三）

奥田委員の質問にお答えします。今後、事業が予定されている主なものについてなんですが、現在、行っている、深江のイルミネーションや2丁目、下北の歩こう会、南津留地区のスポーツ大会、野球大会、そのほか、佐志生地区の環境整備事業、市浜、南部地区等も環境整備事業を行いたいという要望が出ております。以上です。

○委員長（大塚州章）

他にありませんでしょうか。

（ なし ）

○委員長（大塚州章）

以上で総務関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。休憩いたします。

午前10時13分 休憩

---

午前10時14分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。

次に民生関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎市民課長（寺本政浩）

（ 補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎税務課長（中尾 敬）

（ 補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎環境課長（廣瀬武志）

（ 補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。

○委員（河野 巧）

3ページの歳出1番、マイナンバーカード普及促進事業ということで消耗品費、ノベルティで350万円というお話でしたが、どういったものがあるか。お知らせください。

◎市民課長（寺本政浩）

河野委員の質問に答えさせていただきます。消耗品の内訳につきましては、ノベルティなどを予定しております。出張申請のノベルティ用として、5,000円を300社150万円、新規取得者の延べ利用として、1,000円かける2,000人ということで200万円を計上させていただいております。

○委員長（大塚州章）

他にありませんでしょうか。

（ なし ）

○委員長（大塚州章）

以上で民生関係の議案質疑終わります。ご苦労さまでした。休憩いたします。

午前10時21分 休憩

---

午前10時22分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。

福祉保健関係の議案について審査を行います。執行部の説明をお願いいたします。

◎政策監兼保険健康課長（杉野 等）

（ 補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎高齢者支援課長（川辺みさご）

（ 補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎子ども子育て課長（尾本 浩）

（ 補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎福祉課長（大戸敏雄）

（ 補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。

○委員（奥田富美子）

歳出の5、送迎バスの安全装置の改修のところを教えてください。認定子ども園は、2園だけではないと思いますが、送迎をしているところが2園だけだったのでしょうかという質問と、これが不要ですっていうところがあるのかどうかと、あと児童クラブに関しては、大きなバスではなくてワゴン車でしか見たことがないと思うのですが、装置は同じものなのかどのような安全装置対策をとられるのか、もう少し詳細をお願いします。

◎子ども子育て課長（尾本 浩）

奥田委員の質問にお答えいたします。まず、認定子ども園のバスの送迎台数ですけれども、アソカ幼稚園が2台、それから、カトリック白杵幼稚園が2台、合わせて2園で4台というふうにしております。我々が把握しているのは、この2園だけでございます。それから、児童クラブのバスにつきましては、委員おっしゃったように、ワゴンタイプのバス、大きいもので10人乗りのタイプ、あとは8人乗りとか、そういうワゴンタイプのバスで送迎をしております。これについても、安全装置の対象になるというところで補助対象でございます。一応、国のほうが、来年の4月1日から安全装置の設置の義務化をするようになっておりますが、その義務化の対象は、認定子ども園・保育園、でございます。児童クラブについては、義務化の対象ではないというようなことでございます。安全装置がどのようなものかというところでございますが、今後、国において安全装置の使用に関するガイドラインが策定される予定となっておりますので、どういう仕様でどういうものを設置しなさいというものが、そこで示されるというふうに思っておりますので、それを踏まえて設置の方向で、進めたいというふうに思っております。以上です。

○委員（奥田富美子）

今後、ガイドラインが策定されるということですが、設置する側が安全対策や機材とかを考えて、自分たちが選んで、20万円の上限の補助内でやってくださいという形になるのでしょうか。

◎子ども子育て課長（尾本 浩）

奥田委員の再質問にお答えいたします。どのようなガイドラインが出てくるかわかりませんが、いろんな種類のタイプが多分示されると思いますので、そこは我々と園のほうで、どういうものかいいのかというのは、協議しながら進めて決めていきたいというふうに思います。以上です。

○委員長（大塚州章）

他にありませんでしょうか。

（ なし ）

○委員（河野 巧）

歳出の8番、訓練等給付費のところですけども、A型B型で、これは何名ずつ増えた費用でしょうかお願いします。

○委員長（大塚州章）

休憩いたします。

午前10時32分 休憩

---

午前10時33分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。

◎福祉課課長代理（阿南むつみ）

福祉課の阿南と申します。河野委員のご質問にお答えいたします。就労継続のA型につきましては、前年度の月平均が25名から、今年度31名と6名増えております。就労継続のB型につきましては、昨年度月平均が181人であったのに対し、今年度186人と、5名増えております。以上です。

○委員長（大塚州章）

他にありませんでしょうか。

（ なし ）

○委員長（大塚州章）

なければ、以上で、福祉保健関係の質疑を終わります。ご苦勞さまでした。休憩いたします。

午前10時34分 休憩

---

午前10時35分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。

次にインフラ関係の議案について審査を行います。説明をお願いいたします。

◎都市デザイン課長（小坂郡師）

（ 補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎建設課長（高野裕之）

（ 補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎上下水道管理課長（齋藤隆生）

（ 補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。

○委員（奥田富美子）

歳出の2番の道路、補修工事費のところですが看板の掛替ということでしたが具体的に教えてもらえますでしょうか。

◎建設課長（高野裕之）

奥田委員の質問にお答えいたします。道路の標識、国道とか県道とか書いているところで、今回、移管する路線で、県道から市道に変わるのが、江無田橋から堂籠踏切を通過して大坪まで、その路線は現在県道になっておりますが、市道になります。そこにある道路標識、今は県道となっておりますが、多分それが変わると、うちのほうの市道も、県道の表示とかすべて変わるものになります。これ金額もちょっと大きいですが、道路構造に合わない道路標識があります。それについては全面やりかえ、他の看板については文字の張りかえだけなど、そういった工事になっております

○委員長（大塚州章）

他にありませんでしょうか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（大塚州章）

以上でインフラ関係の質疑を終わります。ご苦労さました。休憩いたします。

午前10時41分 休憩

---

午前10時42分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。

次に産業関係の議案について審査を行います。説明をお願いいたします。

◎産業観光課長（佐藤忠久）

（ 補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎農林振興課長（目原康弘）

（ 補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。

○委員（匹田久美子）

歳出の3番のプレミアム商品券についてお願いします。事務費が結構な額になっているのは、応募や申し込みや抽選や引換や様々な作業があるので、仕方ないというか、分かるんですけども、大分市とか日田市では、デジタル商品券も取り入れてますよね。今回は、いいんですけど白杵市でも、確か一昨年、非接触ということでP a y P a yを推奨して店舗に入れたと思うんですけども、デジタル商品券を併用してこのプレミアム商品券を今後、検討していくようなおつもりはありますか。

◎産業観光課長（佐藤忠久）

匹田委員のご質問にお答えいたします。今回の第6段のプレミアム商品券につきましては、県のほうの補助金の枠があるというふうなこと、また、当初から私どもといたしましては、デジタル化について議論をしていたんですけども、その導入時の経費等々調べた時にやはり事務費は現在のやり方が一番効果的である。また、利用される方も慣れていくということで、このまま推移しているところがございます。将来的なことは分かりませんが、当然、世の中の流れがデジタル化ということになりますので、そこら辺も踏まえて、担当課としては検討していきたいと思っております。以上であります。

○委員長（大塚州章）

他にありますか。

○委員（河野 巧）

関連です。3番の第6段プレミアム商品券についてですが、予定をお聞かせください。今後、この通ったときの発行をいつぐらいのめどにしているかというのをお願いします。

◎産業観光課長（佐藤忠久）

河野委員のご質問にお答えいたします。今後でございますが、まず2月の市報のほうに、申込書の折り込みを入れさせてもらいたいと思っております。発行、また取り扱いにつきましては3月から6月にかけての3ヶ月間を想定しております。以上であります。

○委員（奥田富美子）

歳出9番です。基金の積み立てのところですが、今日もNHKだったと思うんですけど、森林譲与税が全国的に半分くらいうまく活用されていない、みたいなことが言われていて、今回、白杵市は、令和3年度において譲与税がどれだけあって、この1,000万円近い金額が、残っているということで基金積立ということだと思っておりますがその割合等を教えてください。

◎農林基盤整備室長（藤澤清巳）

奥田委員の質問にお答えいたします。令和3年度の事業としましては、3年度に配分された環境譲与税は2,256万1,000円です。そのうち、事業費としまして、森林整備に626万6,000円。あと、境界確認や移行調査等に130万9,000円。あと、吉四六さんの8ヶ所の標柱、木質利用の分ですけども、こちらは385万7,000円と諸々、費用を合わせまして、合計1,259万4,000円を事業で実施しております。従いまして、2,256万1,000円から事業費を引きました。996万7,000円が、次年度への基金の繰り越しとなっております。以上でございます。

○委員長（大塚州章）

他にありませんでしょうか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（大塚州章）

以上で、産業関係の議案質疑を終わりますご苦労様でした。休憩いたします。

午前10時53分 休憩

---

午前10時54分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。

次に教育委員会事務局の議案について審査を行います。執行部の説明をお願いいたします。

◎教育総務課長（後藤誠也）

教育委員会事務局所管分についてご説明申し上げます。詳細につきましては各担当課長から説明しますので、どうぞよろしく願いいたします。これからは、着席して説明させていただきます。説明資料の11ページをご覧ください。まず、教育総務課所管分について説明申し上げます。

（ 補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎学校教育課長（新名 敦）

（ 補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎文化・文化財課長（神田高士）

（ 補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。

○委員（河野 巧）

2番と3番、光熱水費、小学校、中学校のところなんですけども、こちら、電気料というの

がメインだと思うんですけども、電力会社は、当初契約施設のほうと随意契約ということによってよろしいでしょうか。

◎教育総務課長（後藤誠也）

電気料につきましては、白杵市役所内で統一しております。電力会社と契約しております。そちらの契約した電力会社のほうと、締結した分についての電気料を支払っているという形になります。以上です。

○委員（河野 巧）

市役所全体と各小学校も全部一緒に、入札かけてたということで、よかったですね。

◎教育総務課長（後藤誠也）

河野委員の質問にお答えします。はい、今おっしゃった通りでございます。

○委員（河野 巧）

もう1点、4番の修学旅行のキャンセル料金の補助金なんですけども、昔は修学旅行という白杵では、1班、2班とかに分けてみんなで行ってたと思うんですけども、現在、もう個別に行っているという認識でよいのかと、あとそうすると、多い学校と少ない学校だと、負担率が変わってくるのかなというのがあるんですけどその辺のご説明をお願いします。

◎学校教育課長（新名 敦）

河野委員の質問にお答えします。修学旅行につきましては原則、修学旅行団という形で行うようになっており、今もそのようになっております。ただ、今回、コロナ禍ということで、各学校に保護者のみなさんの思いであるとか、学校や人数等によって今年はやむなくそれぞれで調整するという形になりましたので、今後は、一応、修学旅行団ということで、白杵は同じところでいくということは計画しておりますが、今年度に限りましては、コロナ禍によりこういう状況になったということで、ご理解いただければと思います。以上でございます。

○委員（河野 巧）

大きい学校と小さい学校で、多分、分母が変わると、1人当たりの単価というのは変わっていくと思うんですけど、その辺もやはり調整は、各学校にお任せということでよろしいでしょうか。

◎学校教育課長（新名 敦）

質問にお答えします。今年度につきましては、各学校で少し差があります。ここにつきましても保護者のみなさんに説明を行った上で、理解いただくということで、各学校で調整をします。今年は、関連各学校に差があるということは事実でございます。以上です。

○委員長（大塚州章）

他にありませんでしょうか。

○委員（奥田富美子）

歳出の5番です。市民会館の委託料のところですが、コロナ禍で、利用者が少ないだろうと見込んでいたところ、思わぬ多かったということだとは思いますが、去年と比べてどんな感

じですかね。

◎文化・文化財課長（神田高士）

去年とはそう変わってはおりません。

○委員（奥田富美子）

去年と変わらないけれども、今年は増額ということは、何か、経費が上がってるというふう  
に思ったらよろしいんでしょうか。人件費とか、物価高騰に伴うものなのんでしょうか。お願い  
します。

◎文化・文化財課長（神田高士）

今年度1月からですね大規模空調の工事に入ったりもしますので、その分が最初あんまり見  
込んでなかったわけですけども、その分、前倒しできたところが多かったということです。

○委員長（大塚州章）

他にありませんでしょうか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（大塚州章）

以上で教育委員会事務局の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。休憩いたします。  
一般会計はここで終了です。10分間休憩いたします。

午前11時03分 休憩

---

午前11時12分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。

次に各特別会計の議案審査を行います。この審査の順序は、所管課ごとに、議案番号順で  
行いますのでよろしく願いいたします。初めに、上下水道管理課及び上下水道工務課所管の  
議案審査を行います。第75号議案、令和4年度白杵市水道事業会計補正予算（第2号）を議  
題といたします。執行部の説明をお願いいたします。

◎上下水道管理課長（齋藤隆生）

（ 補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。

よろしいですか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（大塚州章）

以上で75号議案についての質疑を終わります。

次に、第76号議案、令和4年度白杵市下水道事業会計補正予算（第3号）を議題といたします。説明をお願いいたします。

◎上下水道管理課長（齋藤隆生）

（ 補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

○委員（奥田富美子）

資本的収支の歳出の2のところですが、予定していたところでの地元の方の理解がえられなかったということでこちらが延期で、その次に予定していたものを先にして、そのあと、今後、地元の理解がえられたら3番目の工事はまた改めてやるということで、流れとしてはよろしいでしょうか。

◎上下水道工務課長（小長範幸）

奥田委員の質問にお答えします。狭間、新地第3雨水幹線につきましては、ただいまのところ関係者の理解を得られておりません。それで狭間第4雨水幹線のほうをまずは、先に施工しまして、新地第3雨水幹線につきましては、今後も理解を求めながら、協議していきたいと思っております。理解がえられましたら、今後また引き続き施工したいと思っております。以上です。

○委員長（大塚州章）

他にありませんでしょうか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（大塚州章）

以上で、第76号議案についての質疑を終わります。これで上下水道管理課並びに工務課所管の質疑を終わります。ご苦労さまでした。休憩いたします。

午前11時23分 休憩

---

午前11時24分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。

次に、産業観光課所管の議案の審査を行います。第77号議案、令和4年度白杵石仏特別会計補正予算（第1号）を議題とします。説明をお願いいたします。

◎産業観光課参事（山木哲男）

（ 補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。

よろしいでしょうか。

（ なし ）

○委員長（大塚州章）

以上で第77号議案についての質疑を終わります。以上で産業観光課所管の質疑を終わります。ご苦労さまでした。休憩いたします。

午前11時25分 休憩

---

午前11時26分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。

次に保険健康課所管の議案の審査を行います。第78号議案、令和4年度白杵市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）を議題といたします。説明をお願いいたします。

◎政策監兼保険健康課長（杉野 等）

（ 補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。

（ なし ）

○委員長（大塚州章）

以上で、第78号議案についての質疑を終わります。以上で保険健康課所管の質疑を終わります。ご苦労さまでした。休憩いたします。

午前11時28分 休憩

---

午前11時29分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。

次に高齢者支援課所管の議案の審査を行います。第79号議案、令和4年度白杵市介護保険特別会計補正予算（第2号）を議題といたします。執行部の説明をお願いいたします。

◎高齢者支援課長（川辺みさご）

（ 補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。

○委員（河野 巧）

歳出2番、ニーズ調査時通信運搬費ということで、令和5年1月から3月にかけて実施予定ということですが、アンケートの対象者は何名の方取る予定でしょうか。

◎高齢者支援課長（川辺みさご）

ニーズ調査につきましては、白杵市内に居住をしている65歳以上の在宅の高齢者で、要介護1から要介護5の方を除いた、無作為に抽出をした4,800名の方にアンケートを行う予定としております。以上です。

○委員長（大塚州章）

他にありませんでしょうか。

（ なし ）

○委員長（大塚州章）

以上で79号議案についての質疑を終わります。次に保険健康課所管の議案、第80号議案、令和4年度白杵市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）を議題といたします。説明をお願いいたします。

◎政策監兼保険健康課長（杉野 等）

（ 補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。

○委員長（大塚州章）

ありませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（大塚州章）

以上で第80号議案についての質疑を終わります。お疲れ様でした。休憩いたします。

午前11時34分 休憩

---

午前11時35分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。

これより第74号議案、令和4年度白杵市一般会計補正予算（第8号）に対する討論に入ります。

（ なし ）

○委員長（大塚州章）

以上で討論を終わります。

これより採決を行います。第74号議案については原案の通り可決することにご異議ありませんか。

（ 「異議なし」の声 ）

○委員長（大塚州章）

異議なしと認めます。よって第74号議案については原案の通り可決すべきものとして決しました。以上で第74号議案についての議案審査を終わります。

次に特別会計に入ります。特別会計の第75号議案から第80号議案までは、一括して討論を行います。

○委員長（大塚州章）

以上で討論を終わります。これより採決を行います。

特別会計、第75号議案から第80号議案については原案の通り可決することにご異議ありませんか。

（ 「異議なし」の声 ）

○委員長（大塚州章）

異議なしと認めます。よって、第75号議案から第80号議案については、原案の通り可決すべきものとして決しました。以上で第75号議案から第80号議案についての議案審査を終わります。以上で本委員会に付託を受けました議案の審査を終わります。これで予算委員会を閉会いたします。お疲れ様でした。

午前11時36分 閉会

---

白杵市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに記録を作成する。

令和4年12月12日

白杵市議会

予算委員会委員長 大塚 州章